



記念館だより

2022年7月号

「地域連絡懇談会から」

加藤 輝勢子

本所賀川記念館、光の園保育学校、東駒形教会による恒例の「地域連絡懇談会」が6月10日に行われました。「地域連絡懇談会」は三者の関係者と、地域の方（町会や民生委員、子ども会、近隣の小中学校、中ノ郷信用組合、東駒形コミュニティ会館）に来ていただき、地域のことや課題などを共有して、私たちにできることを話し合う時として年に2回持たれています。

この度は、東駒形教会の役員であり、記念館コスモス会で配達ボランティアをしてくださっている猪股英輔氏にお話を伺いました。本職は東京保健医療専門職大学リハビリテーション学部作業療法学科副学科長で准教授をされています。テーマは「地域の高齢者と共に生きる」ということで、認知症を抱えながら生きていくということや、認知症カフェについてお話してくださいました。

まず、健康寿命と平均寿命の違いを言われました。健康寿命とは生きていけばいいのではなく、誰の手も借りずに生きていくことだそうです。認知症の確率は高齢になると高まり、4人に1人はなるそうです。現在、小学生の人口は750万人ですが、同じくらい認知症の方もいるそうです。全国認知症にならない県ランキングでは1位は山梨県だそうです。運動、食事、社会参加

が認知症予防になるそうです。大分県では「歩得」といって歩くとポイントが付く活動をしているようです。認知症カラーがオレンジ色なので、2015年にオレンジカフェが推進されました。墨田区では2カ所あり、対象者は認知症ご本人、その家族だそうです。このカフェは、コロナ禍でしゃべる機会が無くなり、嚙む力も衰えていき、身の回りのことができなくなる中で、家族と共に地域で支えていくことが大切だということではじまりました。猪股氏の大学でも開催することになり、専門職、ケースワーカー、医師がそろっている点がメリットとしてありますが、何よりも地域に貢献でき、学生の良い学びの時になっているとお話をされていました。

この話を伺い、教会と言うところは礼拝に来て、讃美歌を歌い、交流する居場所になっていると改めて思い、高齢になってもますます来ていただきたいところだと思いました。

子どもたちにとっても運動、食事、社会参加は本当に大切なことですので、これは高齢者の話と言うだけではなく、私たちにもとても参考になる話だと思いました。記念館でもカフェができることを願っています。

本所賀川記念館児童クラブ（児童厚生施設） 2022年7月1日（金）発行

〒130-0005 東京都墨田区東駒形 4-6-2 （一財）本所賀川記念館 TEL03-3622-7811

学童クラブ



梅雨に入り、雨の日が続きました。屋上での遊びができないときは室内での遊びを工夫している姿が見られます。今まで遊んだことのないボードゲームに挑戦したり、小さいころに遊んだ手遊びを思い出しながら遊んだりしています。また、トランプタワー作りや周り将棋など、お友達が遊んでいる方法を真似したり教えてもらったりしながら遊びの幅を広げていきます。

6月中旬には「エールの日」工作としてマスクケースとお手洗い券を作りました。プレゼントしたい相手が好きな色や形を考えながら装飾したり、「受け取ったらどんな顔をするかな」とプレゼントした時の反応を想像したりしながら心を込めて工作しました。保護者の方がお迎えに来た時に早速「いつもありがとう」と渡している姿を見て、普段はなかなか伝えられない感謝を言葉にするきっかけに繋がったと嬉しく思いました。(西村)

大きなタワーができるまで
何度も挑戦します！

どんな飾りつけをしようかな、と
たくさん考えて作りました。



記念館トピック

【賀川研究会】

「セツルメント運動の思想と今後の課題・展望」

7月14日(木) 19:00～

本所賀川記念館3F ホール(西側ピアノ室)

新型コロナウイルスの拡大状況によっては延期となる場合があります。

コスモス会

年齢にかかわらず、ご自分でも、近隣の方も、熱中症かなと思ったらチェックしましょう。(読売新聞 yomiDr より)



本所賀川記念館職員のお知らせ

秋元 瞬平 (入職・児童厚生員)

美術教室 展示会

京成曳舟駅中層階通路・展示ブースにて作品を展示しています！子どもたちが時間をかけて丁寧に取り組んだ作品です。ご家族お誘いの上ご覧くださいませ。展示期間は2022年7月25日くらいまでです。



7月の美術教室は6月29日・7月6日・13日の水曜日 15:00～17:00 となります。

講師：亀田谷亜礼先生

ピアノ教室

毎週月曜日

講師：土屋 紘枝先生

保育園から小学校高学年のお友だちまで、それぞれ目標を設けてピアノの練習を楽しんでいます♪